





シラバス参照



科目名	情報メディア入門
科目名(英字)	Introduction to Information Media
ナンバリング	1CAN02
年次	1年次
単位数	1
期間	後期
担当者	鈴木 基之(スズキ モトユキ) 橋本 渉(ハシモト ワタル) 平山 亮(ヒラヤマ マコト) 平 博順(タイラ ヒロトシ) 福島 拓(フクシマ タク) 神田 智子(コウダ トモコ) 村木 祐太(ムラキ ユウタ) 河合 紀彦(カワイ ノリヒコ) 河北 真宏(カワキタ マサヒロ) 佐野 陸夫(サノ ムツオ) 宮脇 健三郎(ミヤワキ ケンザブロウ) 大井 翔(オオイ ショウ)

授業のねらい・概要	今後履修していく情報メディア学科の専門科目を概括し理解を深めるとともに、研究室見学を通して、新しい技術に触れ、情報メディア技術の理解を深める。同時に、グループ単位で、情報メディア学科の科目を今後学んでいくためのプロモーションコンテンツを議論・提案し、企画書や作品としてまとめることを通して、情報メディア学科の科目を能動的にかつ積極的に取り組んでいくきっかけを与える。		
CSコース			
スパイラル型教育			
	テーマ	内容・方法等	予習／復習
第1回	音メディア (鈴木)	授業の目的・概要、進め方について説明する。その後、音メディアに関する技術を概括し理解を深める。(課題レポート)	予習(1時間):音メディアについて調べておく 復習(3時間):課題レポートの作成
第2回	画像CGメディア (河合)	画像CGメディアに関する技術を概括し理解を深める。(課題レポート)	予習(1時間):画像CGメディアについて調べておく 復習(3時間):課題レポートの作成
第3回	映像メディアの最新技術 (河北)	高精細映像や3次元映像などの最新の映像メディア技術とその応用を概括し理解を深める。(課題レポート)	予習(1時間):3次元映像について調べておく 復習(3時間):課題レポートの作成
第4回	感覚メディア (橋本)	感覚メディアに関する技術を概括し理解を深める。(課題レポート)	予習(1時間):感覚メディアについて調べておく 復習(3時間):課題レポートの作成
	メディアコン	人間とコンピュータとのインタラクションを行うために要求され	予習(1時間):メディアコンピューティング技術

④ 授業計画	第5回	ピューティング(佐野)	るメディアコンピューティング技術を概括し理解を深める。(課題レポート)	について調べておく 復習(3時間):課題レポートの作成	
	第6回	メディア表現(神田)	各種メディアをハンドリングし、人間に分かりやすい形で提供するメディア表現技術を概括し理解を深める。(課題レポート)	予習(1時間):メディア表現について調べておく 復習(3時間):課題レポートの作成	
	第7回	グループワーク(神田, 橋本, 鈴木)	グループ単位で、情報科学部・情報メディア学科の特徴についてKJ法を用いて議論し、わかりやすくプレゼンテーションする。(企画書・作品の提出)	予習(1時間):アイデアを事前に考えておく コンテンツ作成(3時間):企画書・作品の作成	
	第8回	研究室見学(全研究室)	情報メディア学科の研究室見学を通して新しい技術に触れ、情報メディア技術の理解を深める。見学結果をレポートにまとめる。(見学レポート)	予習(1時間):研究室の情報をWebページなどで調べておく 復習(3時間):見学レポートの作成	
	第9回	研究室見学(全研究室)	情報メディア学科の研究室見学を通して新しい技術に触れ、情報メディア技術の理解を深める。見学結果をレポートにまとめる。(見学レポート)	予習(1時間):研究室の情報をWebページなどで調べておく 復習(3時間):見学レポートの作成	
	第10回	研究室見学(全研究室)	情報メディア学科の研究室見学を通して新しい技術に触れ、情報メディア技術の理解を深める。見学結果をレポートにまとめる。(見学レポート)	予習(1時間):研究室の情報をWebページなどで調べておく 復習(3時間):見学レポートの作成	
	第11回	グループワーク(神田, 橋本, 鈴木)	グループ単位で、情報メディア学科の科目を今後学んでいくためのプロモーションコンテンツを議論・提案し、企画書・作品としてまとめる。(企画書・作品の提出)	予習(1時間):企画内容をまとめておく コンテンツ作成(4時間):企画書・作品の作成	
	第12回	グループワーク(神田, 橋本, 鈴木)	グループ単位で、情報メディア学科の科目を今後学んでいくためのプロモーションコンテンツを議論・提案し、企画書・作品としてまとめる。(企画書・作品の提出)	予習(1時間):企画内容をまとめておく コンテンツ作成(4時間):企画書・作品の作成	
	第13回	発表会(神田, 橋本, 鈴木)	グループワークで議論した内容のプレゼンテーションを行う。(プレゼンテーション資料の提出)	発表準備(4時間) 発表内容に関する振り返り(1時間)	
	第14回	発表会(神田, 橋本, 鈴木)	グループワークで議論した内容のプレゼンテーションを行う。(プレゼンテーション資料の提出)	発表準備(4時間) 発表内容に関する振り返り(1時間)	
	④ 到達目標	(a)毎回提出するレポートや企画書、プレゼンテーション資料に関して体裁を満たしたものを提出する習慣がついている。(14回中9回以上は提出できていること) (b)情報メディアを今後学習していく上で必要な技術の背景や意義について説明できる。 (c)情報メディア学科の科目を今後学んでいくためのプロモーションコンテンツを議論・提案できる。 (d)情報メディア学科の科目を今後学んでいくためのプロモーションコンテンツに関してわかりやすくプレゼンテーションを行うことができる。			
	④ 評価方法	レポートや発表を通して評価を行う。(b)項目は、6回の課題レポートと3回の見学レポート、計9回のレポートにより評価を行う。(c)項目は、グループワークによる作成される企画書や作品により評価を行う。(d)項目は、発表会におけるプレゼンテーションにより評価を行う。課題レポートを授業中に実施するか宿題にするかは教員の判断による。 (b)項目50%, (c)項目40%, (d)項目10% 欠席、遅刻は減点対象。			
	④ 成績評価基準	A:(a)を達成し、かつ、(b)~(d)のすべての項目を総合した評価が90%以上である。 B:(a)を達成し、かつ、(b)~(d)のすべての項目を総合した評価が80%以上90%未満である。 C:(a)を達成し、かつ、(b)~(d)のすべての項目を総合した評価が70%以上80%未満である。 D:(a)を達成し、かつ、(b)~(d)のすべての項目を総合した評価が60%以上70%未満である。 F:上記以外			
	④ 教科書		書名	著者名	出版社名
1.		授業中における提示物			
	2.	<一部の回ではノートPC必携>			

 参考書	
 受講心得	<p>受講対象は情報メディア学科とする。課題レポートはレポート作成の注意点についてフィードバックを行う。見学レポートについては教員のチェック後返却をする。作品、プレゼンテーションについては学生の相互評価のフィードバックを行う。授業の時間数以外に、予復習36時間、企画・コンテンツ制作14時間、発表準備・発表の振り返り10時間が必要である。</p>
 オフィス アワー	<p> オフィスアワー(佐野):火曜5限 251研究室 オフィスアワー(神田):木曜5限 222研究室 オフィスアワー(鈴木):金曜4限 243研究室 オフィスアワー(平):月曜5限 606研究室 オフィスアワー(橋本):火曜2限 231研究室 オフィスアワー(平山):火曜3限 262研究室 オフィスアワー(福島):火曜2限 253研究室 オフィスアワー(宮脇):水曜3限 241研究室 オフィスアワー(村木):木曜3限 233研究室 オフィスアワー(河合):木曜3限 252研究室 オフィスアワー(河北):火曜5限 232研究室 オフィスアワー(大井):木曜2限 263研究室 </p>
 実践的教育	<p> 【実践的教育】 (佐野 睦夫)企業における情報メディアシステム構築の実験を踏まえて、実践的教育を展開する。 (神田 智子)マスメディア・ITベンチャー業界の実務経験を元に、マルチメディアコンテンツ制作の指導を行う (平山 亮)情報メディアの研究開発経験を持つ教員が、その経験を活かして情報メディアについて指導する。 (平 博順)自然言語処理の研究開発の経験を持つ教員が、その経験を活かして情報メディアについて指導を行う (河北 真宏)放送業界における映像技術の研究開発の実務経験を活かして、情報メディアについて指導を行う。 </p>

